



清水建設との交渉

### 清水 世代別の検証必要 業法の視点で対応せよ

【共同アスク・末松記者】清水建設(以下、清水)との交渉には、窪田団長(東京)をほじめて、21人が参加し、清水側は7人が対応。組合側からは依然まぬ賃金改善に対して、「日建連の『長期ビジョン』で明記されている建設技能労働者の世代的平均年収を目指すためには、世代別調査による検証が必要だと思ふが、具体的な調査は、賃金アップにつなぐたい」との回答がありました。

### 第66回 大手企業交渉

# 本気の賃上げで 魅力ある建設産業に

## 大成 81社の違反を追及 新国立の労働環境是正を

【共同アスク・小松記者】新国立競技場工事現場で現場監督が過労自殺していたことが明らかになった問題で、交渉団は「下請81社で法令違反が明らかになっている」と指摘。元請としてこのような見解が回答求めました。大成建設(以下、大成)は「法令違反を是正するため、もっと踏み込んだ取り組みが必要」と元請責任は認めつつも、具体策については「申し上げられたい」として回避。交渉団からは「新国立の現場では24時間営業に近い実態があったのではないか」「下請が夜遅くまで働いていた事実も、元請も認識してたと国交省から聞いている」とさらに追及される。「この質問に答えられる職は(こ)はない」と回答しませんでした。交渉団からは早朝7時から始まる



大成建設との交渉

## 現場の労働環境の改善は最優先の課題

### 竹中 下請指導強めよ 建退共請求理解なし



竹中工務店との交渉

【共同アスク・浅野記者】竹中工務店の交渉は、斉藤団長(埼玉)をはじめ21人と竹中工務店からは5人で行なわれました。斉藤団長は「設計労働単価が引き上げられれば、次世代の担い手確保のために処遇改善に取り組みたい。しかし労働者の賃金単価は微増にとどまっている。セネコン各社が大きな利益を上げていることを、大幅な改善が必要」と語りました。



大林組との交渉

### 大林 トイレ改善を確認 五輪現場調査を約束

【共同アスク・村尾記者】大林組の交渉は、神奈川県連の荒井団長をはじめ組合側から18人、大林組から建築事業部長など10人で行なわれ、荒井団長は「組合側から『現場の従事の賃金上げがない。死亡災害も続いている。』と説明がなされた。また、建退共制度について



大和ハウスとの交渉

### 大和 賃金調査にかい離 駐車場代徴収を指摘

【共同アスク・鈴木記者】大和ハウスの交渉は、日額1万円以下の労働者がいるなど、大和の調査とは大きな乖離(かいり)があるとの指摘がありました。「乖離がある」とは理解できたと回答する大和に対して、組合側からは「賃金調査結果が口頭報告のみならず、ペーパーで知らせることで、賃金実態をより大和と組合側の共通の認識にするために、下請の回数などで調査するまでに重ねて要望しました。」

法定福利費では、大和は1次の支払い遂行を強調するのに対して、2次以下へ「真水」が行っているかを元請として責任をもって確認するべきと組合側は繰り返し主張しました。

「取すかしい指摘を受けるな」と直ちに指導する」と約束しました。建設キャリアアップシステムについて「現場従事者の技術・技能が賃金に反映できるように」との企業側の回答に対して、参加者からは「システムに登録すること、賃金引き上げの可能性があることを大和が言及したと仲間にも宣伝できる」と期待する声が出されました。交渉には鈴木団長(千葉)をはじめ27人と大成から9人が出席しました。

### 住林 社会保険入れない 実態把握強く求める

【共同アスク・末松記者】住友林業(以下、住林)の交渉は建設埼玉の中村団長をはじめ、35人の仲間が参加。住林側からは9人が対応。今回は、法定福利費を中心とした賃金問題が議論の中心となっていました。

組合側から発言すると、「来春の企業交渉を待たずに、個別案件として調査し回答すること」を約束しました。現場の経費問題では、都内A現場で駐車場代が1日5000円を徴収されていることを指摘。また参加者の中には、現場従事者も参加しており、現場の事情が明らかになり、深く追及がなされました。住林側からは「前年より法定福利費を法定額に15%の額を減らしている」との回答に



積水ハウスとの交渉

### 積水 2次以下調査を 実質賃金アップなし

【共同アスク・山田記者】積水ハウスの交渉は、小林団長(神奈川)をはじめ17人が参加。水側は「調査予定はない」と回答。また、2回の賃金調査、現場労働者への直接聞き取りについても「2回の調査は協力の負担を考慮しては、また2次以下とは関係ない」と回答。現場労働者への直接聞き取りも考えていない」と回答しました。進展のない回答に交渉団は「我々の調査とか、離れがある。業界のトランシェンとして年

### 鹿島 前回から横ばい 公現場で2千円減も

【共同アスク・浅野記者】鹿島建設との交渉は、菅原団長(東京)と都連(埼玉)の22人と企業からは12人で行なわれ、交渉は「賃金調査のサンプル組合・年齢・経験年数などのデータを他のセネコンなど提示してもらいたい」と要請し、リアルな状況踏まえ、賃金引き上げのため下請指導を要する」と求めました。

【共同アスク・浅野記者】鹿島建設は「協力的な交渉が期待されている」と説明。また、公共現場で前年より2000円も賃金が下がった。駐車料金も別途請求された。現場からは「公共現場で2000円も下がったのは考えられない。具体的な現場を言ってもらえれば対応する。現場が動いているなら解決は早い」と返答がなされました。

改善を指示した。トイレなどはすぐに改善したはずだと報告されました。賃金調査は、今回初めて公共工事現場の調査が公表されましたが、賃金水準は民間いずれも1万6000円台から7000円台と設計労働単価との乖離が明らかになり、指摘をする。1次協力会社には設計労働単価前後の支払いはしている」と回答しました。

## 法福費、単価アップも 下請互助会員が揃って要求

【埼玉の仲間からの報告】埼玉県日高市にある小さな会社です。息子たちと一緒に、サッシの取付施工を行って、ます。東京都の大家に本社を置くM社から、ほぼ全ての受注をいただく中で経営を続けておられます。M社の下請には、うちの小さな事業所が数十社あり、互助会を作り、ゆるく連携しておりました。互助会は研修旅行やレクリエーションを主に行い、M社に何か提案をあげるようなことは何もしてきませんでした。互助会の月例の集いで法定



新国立競技場の現場で働く労働者

福利費を議題あげたのは3年前のことです。この時、大きな驚きをもって迎えられ、次いで協議を重ねることになりました。一律1%の法定福利費率を提案し、結果5%の獲得となりました。M社もこの時、各セネコン、施主からは法定福利費を得ていない中での支給でした。元請として、下請互助会に社会保険の加入を推進している以上は、身

銭を切る形での支出だったと言います。下請として、何かできることはあるかと聞き、社会保険の加入を益々進めたい旨を伝えられました。社会保険の加入が100%の社会保険加入に取組んでください。互助会の会則を制定し、あやむやみであった互助のありさまを明らかにしました。資料を自作し、未加入の事業者の元には運搬ひ語り、加入してもらいました。この時に助けてくださったのが埼玉建設能日高支部の皆さんでした。

元請との粘り強い対話で成果あがる

元請との交渉は、9月1日までに、まずその拡充を目指すとの目標設定も提示していたと、10月18日(土)にいただきました。女闘ドア施工について、16%の単価アップを提示していたら、M社が「16%の単価アップを提示していただきた。振り返り思うことは、対話の大切さ、互助会の仲間との周知、互助会の仲間との連携、元請のM社の理解、そして埼玉建設の皆さんの熱意と協力。こんなと聞き、話を聞き、より良い将来のために何かできるかを、皆で考えた結果が法定福利費の拡充につながったのです。

詰将棋の解答

一歩▲同玉▲四金△  
二玉▲三金△一玉▲三  
角成△同桂▲一歩△二玉  
▲三二車まで11手詰。